

夢
むつひづき
月
RIAOH

# 夢月

むつひづき


ジャー♪
あ そうそう
翡翠ちゃん
スジはなるべく残さないように取って頂戴ね～
夢月
内脇だっと
それでね－秋葉さまったら顔まっ赤にして
ホントに可愛らしいったら
志貴さんもあれでなかなかニブチンさんだから
じゃ



びくっ
秋葉さまももうちょっとお淑しくしてさしあげればいいのにねー
あれじゃ志貴さんも蛇に睨まれた蛙たわ
あらそうかしら♪
そってすよーぜったい
まぁ、そんな素直じゃないところがまた秋葉さまらしいんだけど
ふうん♪
琥珀 ニブチンってなんですか
そんなわからない言葉を使われると私 イライラしてしまいそう
えっ! あ いや 大した意味は
それに蛇に睨まれた蛙というのはどういう表現かしら
そんなこと無いとは思うのだけれど誰かの比喩かしらね
ねえ琥珀? 私 サッパリ解らないわ
ひっ 翡翠ちゃん
たいっ
わかっているんだ
そんなことは
今更琥珀に
言われるまでもない――


でも、私は
これ以上兄さんに
近づいては
いけないんだ
もし今、素直な
気持ちを口にして
しまったら
私は、きっと――
え
ふだん 兄さんは
冷たい人ですから
はぁ
兄さんには一番に
なれる人がいない
だけどそれは、
一番になりたい者に
とっては残酷だわ
いけない
…兄さん、
……今日は、
優しいんですね
ねぇ…ちゃんと
聞いているんですか
兄さんは
あ、ああ
兄さんさえいてくれれば
私はそれで良いんです
これは
口にしては
いけないこと
なのに
たっていうのに
兄さんは いつも
いつも



兄さん
ずっと
秋葉には 兄さんだけなんです
ずっと昔から 秋葉は兄さんのことだけを
お おい、秋葉？
ずっと
ずっと、この想いは胸の内に秘めておくのだと
あ
そうやって遠野秋葉は生きていくのだと
!?
ゆめみるユメのなかでにいさんのみるユメのゆめをみた


やっぱりなぁ
遠野くんのことだから、絶対覚えてなんかないと思った
彼方から、ひぐらしのこえ
天幕を茜に染めて
ね、遠野くん
虚ろに 響く
またわたしがピンチになっちゃったら、そのときだって助けてくれるよね？
その夜は、まるで——
弓
来ないでッ!!
そうだ——
ダメだよ、志貴くん
ここは暗くて寒くて…
わたしはもうもどれない


そう
やる気なんだ、
志貴くんってば
うそつき…！
どうして!?
助けてくれるって
言ったのに〃
—それじゃあさ、
今夜はわりと
楽しめそうだよね、
志貴くん—〃
まるで
わたしだって、好きで
こんな体になったんじゃ
ないのに
！
こんなに寒くて
痛くて　苦しくて
すごく不安なのに
どうして貴方まで
わたしを受け入れて
くれないの　ッ〃


いいよ、弓塚…
約束だもんな
キミと一緒に、行ってやる
兄さん⁉
いけない！
やめて！
わ…
私の兄さんを連れていかないで
やめて
イヤ…ッ
兄さん…‼
そんなのはイヤ‼
そこを踏み越えてしまったら、あなたは…



秋、葉…？
あ、兄さん？
や
約束…しましたよね
ちゃんと帰って来るって
お願い、もう…
もう二度と 秋葉を
ひとりにしないで
ください…！
秋葉
ああ
そうだ、
俺は…
もう二度と
あいつを悲しませないって
決めたのに…
トン


そっか
やっぱり、一緒には行ってくれないんだね
泣かないで 遠野くん
あなたは、最期に私を助けてくれたんだから
それにね、今は
ちょっとだけ、あったかいや
エヘヘ
ザ
カラン
もし
もしも 死が救いになるというのなら
そのときは兄さん きっと あなたの手で


コン
コンッ
秋葉さま おはようございます
着替えを お持ちしました
おはよう琥珀
そこに置いて いって頂戴
はい それでは 失礼しますね
夢をみていた ような気がする
まだ腕に残る、抱きしめた 兄さんの感触
夢に見た兄さんの 夢の中に 私の夢を 見ることが できたなら
私はもう 迷わない


ねぇ秋葉さま？
昨日は良いことありました？
え
どうして？
いえですね
昨日は志貴さんが酔いつぶれた秋葉さまを介抱されてましたから
なにかあったかなーって
秋葉さま今日はずいぶん良いお顔をされていますし♥
なー
琥珀！もう、からかわないでっ
あらあら
それじゃわたしはお食事の用意に参りますね
まったく
——さあ、
私は私らしく
琥珀——っ
いつものお茶の用意お願いねっ
はーい
最期の最後まで、誰よりも遠野秋葉らしく在り続けることにしよう




■

遠野家本発行おめでとうです、ということで。なんちゅうかお久しぶりというかはじめましてな感じの西瀬だっとです。いやはや らいあさんに本出せ、原稿描かせろと焚き付けたのは僕だったような気もしますが 絵が難しくて苦労しました!!!

月姫は今年の夏に一週間ほど不眠不休でやりました。しんどかったよ。コチャコチャと小難しい言葉たちとか 不思議な立体感を持つキャラクターとかが印象的でした。第一印象が 拗ねてるのがバレバレな秋葉でしたね。最終的には琥珀さん最萌です。お話は、秋葉シナリオにおける「秋葉⇔さつき」の図式を前に出したいなぁ、というつもりで描きました。お嬢秋葉と妹秋葉のギャップを埋めきれず苦労していたんですが らいあさんに「秋葉はお嬢秋葉としての自分の在り方が好きなんだぜい(要約)」とアドバイスいただいて掴んだような気がします。

えっと、この本アルクとかシエルはさっぱり出てこないんじゃないのかな?アルクは白くて可愛いですね。シエルは黒くてかわいいというか なんというか

2001 10.03
西瀬だっと

# 夢月

むつびづき

霏々として降りやまぬ

雪の中――

ふと、彼女の夢をみた――



らいあ



遠野志貴は死にかけているのだと思う
志貴様 このままでは本当にお身体に障ります
どうか
大丈夫だよ 翡翠
ちょっと疲れが出ただけだ
これぐらい… なんでもないさ
そんな

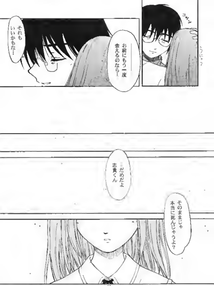


…もう立っているのもやっとではないですか志貴様…
このままではもう…
――長くは生きていられません…
――…
一時間ほどしたら琥珀さんを呼んでくれ翡翠
志貴様!!


よう秋葉
元気か？
あー
ぎゅっ


ぐっ
ガリッ
あれからもう
どれだけの月日が
たったのか
最近秋葉は僕が
わかるようになってきた
うまいか？ 秋葉
…いつか…元の秋葉に
戻る日が来るのかも
しれない
また「秋葉」に会える
ときが来るのかも
しれない

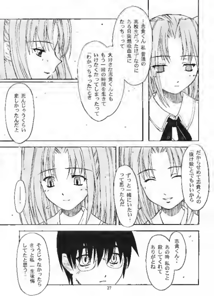

――そんな
かすかな希望だけが
今の遠野志貴の
存在理由にちがいない
身体がきつい
くらっ
すぐに意識が保てなく
なってくる
無理をしてるってことは
自分でもわかっている
このまま衰弱していけば
本当に命だって危ないの
かもしれない――
でも、


コツン
うにゅ？
お前にもう一度
会えるのなら…
それも
いいかもな…
だめだよ
志貴くん
そのままじゃ
本当に死んじゃうよ？


!
えへへ
久しぶり
志貴くん
弓塚？
うん
やっぱり気付いて
なかったんだね
志貴くん
私
ずっと貴方の身体の
中にいたんだよ
志貴くん私の血を
受けたじゃない――
多分そのせいだと
思うんだ
あの夜私の身体が
崩れていったあと
気が付いたら私
志貴くんの身体の中に
入ってた


だからわかるんだ
志貴くんそのままじゃ
ほんとに死んじゃうよ?
志貴くんは秋葉さんに
血と一緒に命まで
吸われているんだよ
命も?
うん 私
感じるもの
秋葉さんに血を
吸われると
志貴くんの命も
どんどん弱まって
いくんだ
じゃあ秋葉は・
——うん
そういうことだよ
だから秋葉さんが
元に戻ったときには・


たぶん遠野くんは・・・助からないと思う・・・
・・・そうか
・・・志貴くん？
それでも
・・・それでも闇際に一度でもいいよ
もう一度秋葉に会いたい
せめてさ・・・
ちゃんとさよならを言いたいんだ


…志貴くん 私 普通の高校生だったはずなのに ある日突然吸血鬼に なっちゃって
大好きな志貴くんとも もう一緒の時間を生きていけなくなってしまったって「わかっちゃった」とき
死んじゃうくらい悲しかったんだよ
だからせめて志貴くんの「抜け殻」とでもいいから
ずっと一緒にいたい…って思ったんだ
…!
志貴くん…
あの時 私のこと 殺してくれて ありがとね
そうじゃなかったら きっと私 一生後悔 してたと思う…


自分の大好きな人が心の無い「人形」になってしまうのってすっごく悲しいね——
私 今の志貴くんと同じ思いを ずっと感じて生きていくことになるとこだった
弓塚…
私ね 短い間だったけど志貴くんと会えて幸せだったよ
思えば悔いなんていくらでもあるけどそれはもうかなわないしね……いいんだ
だからね志貴くんにお返ししてあげる


ねえ 志貴くん
一つだけお願いが
あるんだ――
私のこと…
忘れないでね――
CHU!
私の残りの命
志貴くんにあげるよ


兄さん？
もうすぐお昼ですよ
ん…
…と珍しいな秋葉が
呼びにくるなんて
――いいんですっ
秋葉は兄さんの「恋人」
なんですから
…よし
いくか


霏々として降りやまぬ
雪の中
僕は彼女に
出会った――
あれが現実の出来事なのかは
今もわからないけれど
遠野志貴が弓塚さつきを
忘れてしまうことなんて




Fin.

RIAOH
2001

